

令和元年6月13日

高知市の南海トラフ地震対策と水道事業



出展：高知市防災対策部・高知市上下水道局

高知市の水道

通水開始年
大正14年

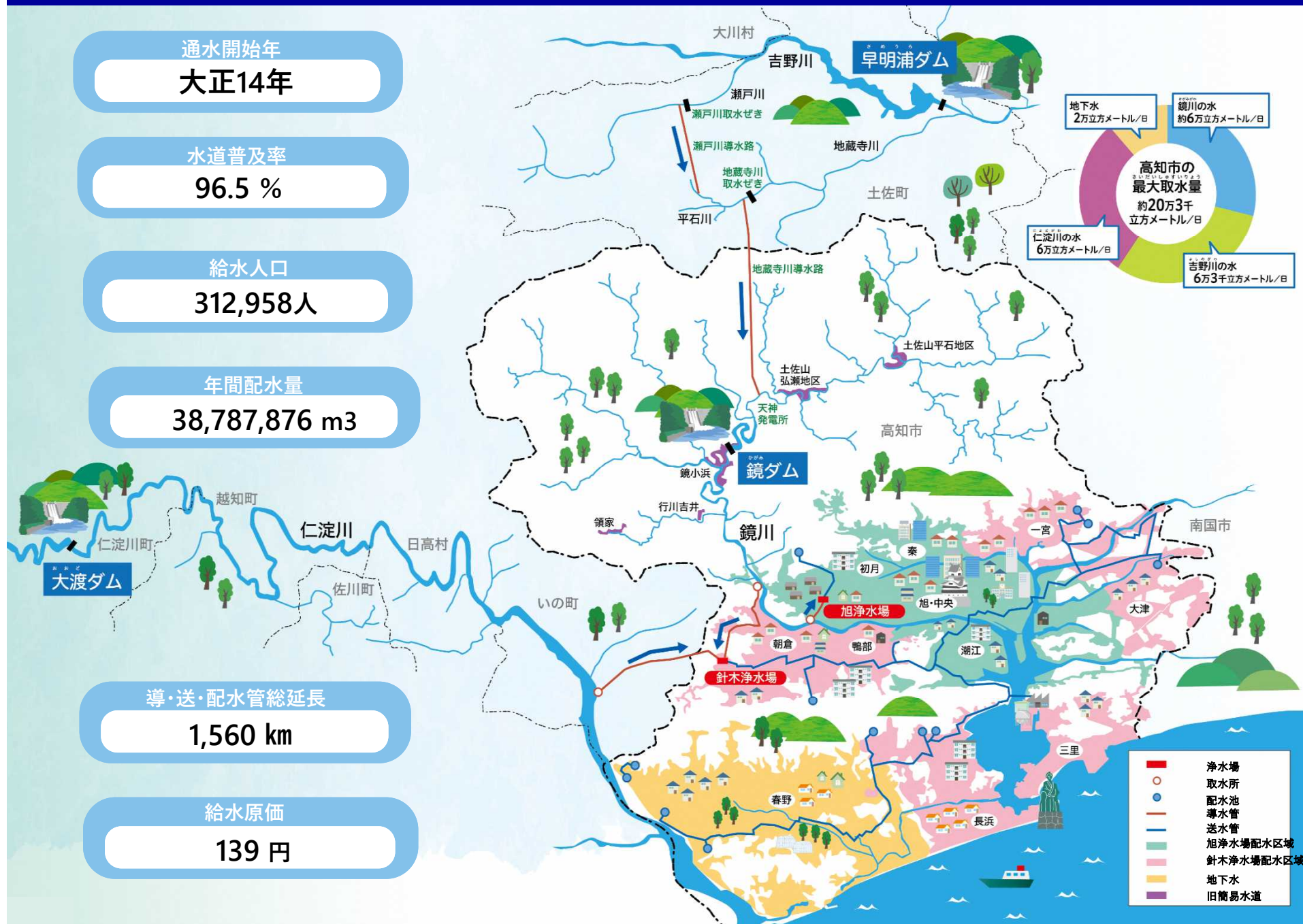
水道普及率
96.5 %

給水人口
312,958人

年間配水量
38,787,876 m³

導・送・配水管総延長
1,560 km

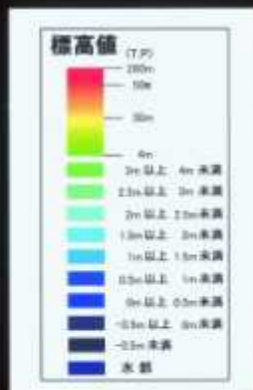
給水原価
139 円



高知市の地勢は・・・

標高1m以下

標高が低い所や地盤が柔らかい所が多い



地震による津波の影響を受けやすい

「高知」

1:25,000 デジタル標高地形図

提高干一步

第一次取得時期：平成15、16、18年度計画

データ形式: 016 (建物経年モデル: 地盤の相対高さを格子状に整列させたデータ群)

ポリシユマイズ 5mm

標準差の単位 1 G cm

標高1m以下の陸地、標高偏差 30cm 以内（メッシュ内に計測点がある場合）

[illegible]

長期浸水対策

五台山から見た高知市街

昭和21年12月21日 昭和南海地震 M8.0



写真上：発災翌日(12月22日) 五台山より撮影

写真下：現在の高知市

津波避難施設整備事業

➤ 近くに自然地形の高台や高層建築物の無い津波避難困難地域に対して、津波避難タワー等の避難施設を整備

- 津波避難タワー 9基 (収容人数合計：3,349人)
- 津波避難センター 3棟 (収容人数合計：1,882人)

◆整備実績及び整備予定

区分	24年度まで	25年度	26年度	27年度
津波避難路	17	74	48	101
津波避難タワー	0	1	1	7
津波避難センター	1	0	0	2

津波避難ビルの指定

- 津波からの避難が遅れた避難者などが緊急に避難するための建物
(高知市津波避難ビルガイドラインに基づき指定)
- 【構造】 鉄筋コンクリートあるいは鉄骨鉄筋コンクリート造
- 【階層】 3階以上
- 【避難場所】 4階以上（3階建であれば屋上のみ）



高知市上下水道局の受援関係施設



針木浄水場(救援隊参集場所)



災害用備蓄倉庫(針木浄水場隣接)



針木浄水場駐車スペース



給水車への給水施設